



【2017年1月9日～1月13日】

## 1. 先週の市場動向

| ＜株式＞          | 先々週末<br>2017/1/6 | 先週末<br>2017/1/13 | 前週比    |
|---------------|------------------|------------------|--------|
| NYダウ（米国）      | 19,963.80        | 19,885.73        | ▲0.39% |
| 日経平均株価（日本）    | 19,454.33        | 19,287.28        | ▲0.86% |
| DAX指数（ドイツ）    | 11,599.01        | 11,629.18        | 0.26%  |
| FTSE指数（英国）    | 7,210.05         | 7,337.81         | 1.77%  |
| 上海総合指数（中国）    | 3,154.32         | 3,112.76         | ▲1.32% |
| 香港ハンセン指数（中国）  | 22,503.01        | 22,937.38        | 1.93%  |
| ASX指数（豪州）     | 5,755.58         | 5,721.12         | ▲0.60% |
| ＜リート＞         | 先々週末             | 先週末              | 前週比    |
| S&Pグローバルリート指数 | 180.80           | 177.74           | ▲1.69% |
| ＜債券＞（利回り）（％）  | 先々週末             | 先週末              | 前週差    |
| 米国10年国債       | 2.419            | 2.396            | ▲0.023 |
| 日本10年国債       | 0.059            | 0.050            | ▲0.009 |
| ドイツ10年国債      | 0.298            | 0.338            | 0.040  |
| 英国10年国債       | 1.383            | 1.364            | ▲0.019 |
| ＜為替＞          | 先々週末             | 先週末              | 前週比    |
| ドル円           | 117.02           | 114.49           | ▲2.16% |
| ユーロ円          | 123.25           | 121.87           | ▲1.12% |
| ユーロドル         | 1.0532           | 1.0643           | 1.05%  |
| 豪ドル円          | 85.41            | 85.87            | 0.54%  |
| ＜商品＞          | 先々週末             | 先週末              | 前週比    |
| 商品（CRB指数）     | 193.54           | 194.54           | 0.52%  |
| 原油先物価格（WTI）   | 53.99            | 52.37            | ▲3.00% |

## 【先週の市場の振り返り】

### ＜株式＞

世界の株式市場は、高安まちまちとなりました。注目されたトランプ次期米大統領による11日の会見では、具体的な政策などに対する言及がなく、不透明感が広がりました。会見後にはドル売りが進んだため、対ドルでの通貨安の不服から資金流出懸念が後退した新興国の株価上昇が目立ちました。米国株式市場では、連休前の利益確定売りに押され、NYダウが反落しました。一方、欧州株式市場では、ドイツDAX指数が昨年来高値を更新しました。中国株式市場では、月末の大型連休を控えた持ち高調整の売りから、上海総合指数が下落しました。日本の株式市場は円高が進んだことなどから反落し、日経平均株価は前週末比▲0.86%で終了しました。

### ＜債券＞

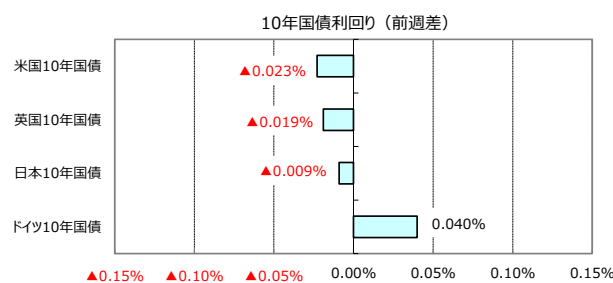
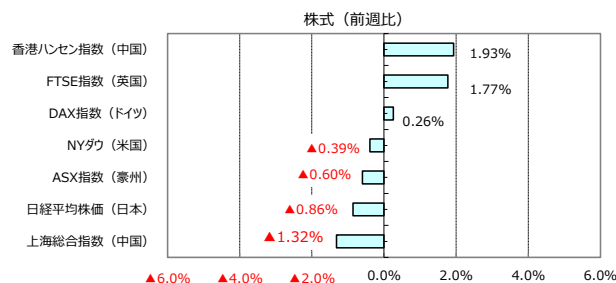
日米の長期金利は小幅低下しました。米国10年国債利回りは、投資家のリスク回避の動きから低下基調で推移しましたが、週末の米国のインフレ関連指標が改善し、先行きの物価上昇を意識した売りが出たため、週間では小幅低下の2.396%で引けました。日本の10年国債利回りも0.05%と、小幅低下して終了しました。一方、ドイツの10年国債の利回りは、欧州株価上昇などを受け、0.338%に上昇しました。

### ＜為替＞

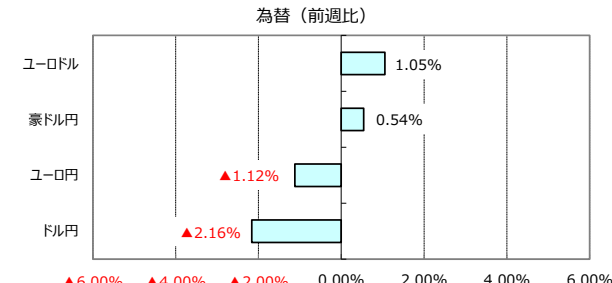
円相場は対ドル、対ユーロで上昇しました。トランプ次期米政権による政策の不透明感からドルを売る動きが優勢となり、円高が進行しました。円は対ドルでは5日続伸し、114円台半ばで取引を終えました。対ユーロでは、121円後半で引けました。ドルは対ユーロでも1%強の下落となりました。

### ＜商品＞

原油先物価格は、52.37ドルに反落しました。石油輸出国機構（OPEC）加盟国やロシアなどの非加盟国の減産を手掛かりに高値圏に上昇していたため、連休を控えて利益確定を目的とした売りに押されました。



※利回りの低下は債券価格の上昇を表します。



※ユーロドルのプラス表示はユーロ高・ドル安。

（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



【2017年1月9日～1月13日】

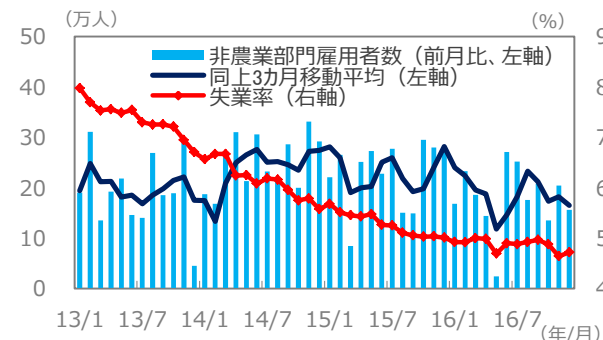
## 2. 先週のマーケット・デیلیー/ウィークリー

|          | テーマ                            | ポイント                                                                                                                                               |
|----------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1/10 (火) | 先週のマーケットの振り返り                  | 2017/1/2～1/6 マーケットの振り返り                                                                                                                            |
| ☆        | 引き続き良好な米国の雇用統計 (2016年12月)      | 1. 雇用者数は15.6万人増、過去2カ月で2万人弱の上方修正<br>2. 失業率は小幅上昇、賃金は堅調に上昇                                                                                            |
| 1/10 (火) | 7年半ぶりの高い伸び率となった賃金              | 3. <b>【株価、米ドルは上昇】</b> 米国経済は、良好な雇用・所得環境を背景とする個人消費の順調な増加を支えに、拡大を続けています。金利には上昇圧力がかかると見られますが、景気拡大の持続により企業利潤の増加の勢いも強まると予想されます。株価は、業績の伸びに沿った動きになる見通しです。  |
| 1/11 (水) | 日本の株式市場 (2017年1月)              | 1. 大型株が堅調に推移、「トランプ・ラリー」で鮮明に<br>2. 小型株は出遅れ、1月に入ってから離れ縮小傾向                                                                                           |
| ☆        | ブラジルの金融政策 (2017年1月)            | 3. <b>【日本株式への期待続く】</b> 今後は米新政権の政策内容が焦点ですが、ドル高基調が続けば日本株式への期待は続くと思われます。不透明感も強い状況です。こうした中、ファンダメンタルズのしっかりした内需系の企業を中心に中小小型株も堅調に推移することが期待されます。           |
| 1/11 (水) | 予想を上回る0.75%利下げ：新たな利下げペース示唆     | 1. 予想を超える0.75%利下げ、3会合連続の利下げ<br>2. 新たな利下げペース示唆、インフレ率が一段と低下                                                                                          |
| 1/12 (木) | 米国ハイイールド債券市場の動向と見通し            | 3. <b>【ブラジルレアルは堅調な動き】</b> テメル大統領が財政赤字に歯止めを掛ける改革を進めていることや、中銀が積極的な金融緩和を行っていることから、ブラジルの景気回復期待が支えとなり、レアルは堅調な動きが続くと見込まれます。                              |
| 1/13 (金) | アジア・オセアニアのリート市場の動向 (2016年12月)  | 1. 良好なパフォーマンス、株式に劣らないパフォーマンス<br>2. 危険回避の動きが後退、高い利回りが魅力                                                                                             |
| 1/13 (金) | まちまちの動き：今後のアジア・オセアニアリートの見直しに期待 | 3. <b>【今後も堅調に推移しよう】</b> 中国経済の持ち直し、産油国間の協調減産の効果により原油価格は底堅く推移する見通しです。米国の金融政策については、利上げの速度は緩やかと予想されます。企業のデフォルト率は低下に向かうと見られ、ハイイールド債券市場には資金流入が続くと考えられます。 |
| 1/13 (金) | インドの2016年度GDP見通し               | 1. 香港、シンガポールは下落、オーストラリアは上昇<br>2. 円ベース騰落率もまちまち、為替効果はプラス寄与                                                                                           |
| 1/13 (金) | 新紙幣不足解消により消費は回復へ、景気拡大の流れは不変    | 3. <b>【相対的な配当利回りの高さや成長期待から注目されよう】</b> グローバルリート市場が反発するなか、金利上昇に対する織り込みはかなり進んだと見られるため、相対的な配当利回りの高さや成長期待から、アジア・オセアニアリート市場が改めて注目されるものと期待されます。           |
| 1/13 (金) | 新紙幣不足解消により消費は回復へ、景気拡大の流れは不変    | 1. 7%程度の成長となろう<br>2. 二輪車販売台数は下振れ                                                                                                                   |
| 1/13 (金) | 新紙幣不足解消により消費は回復へ、景気拡大の流れは不変    | 3. <b>【新紙幣不足解消により消費は回復へ、景気拡大基調は不変】</b> 新紙幣の供給不足により消費が低迷していますが、新紙幣不足は解消に向かい、混乱は年度内に終息すると思われます。新年度以降は堅調な消費とインフレ低下基調に変化がない中、8%の実質GDP成長率を見込みます。        |

## ☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

☆1/10 引き続き良好な米国の雇用統計 (2016年12月)  
7年半ぶりの高い伸び率となった賃金

【非農業部門雇用者数と失業率】



☆1/12 ブラジルの金融政策 (2017年1月)  
予想を上回る0.75%利下げ：新たな利下げペース示唆

【ブラジルレアル】



☆ は右の「グラフ・図表」を参照。



【2017年1月9日～1月13日】

## 3. 今週の主な注目材料

| 日付          | 米国                                     | 日本                                                    | 欧州                                 | アジア・オセアニア・その他                        |
|-------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1/16 (月)    |                                        | 11月機械受注 ☆<br>12月国内企業物価指数<br>11月第3次産業活動指数<br>12月工作機械受注 | ユーロ圏11月貿易収支                        | インド12月卸売物価                           |
| 1/17 (火)    | 1月NY連銀製造業指数                            | 11月設備稼働率                                              | 英12月消費者物価指数、生産者物価指数<br>独1月ZEW景況感調査 |                                      |
| 1/18 (水)    | 12月消費者物価指数<br>12月鉱工業生産<br>1月NAHB住宅市場指数 |                                                       | ユーロ圏12月消費者物価指数<br>英11月失業率          |                                      |
| 1/19 (木)    | 12月住宅着工件数<br>1月フィラデルフィア連銀指数            | 12月首都圏マンション販売                                         | ECB理事会 ☆                           | 豪12月雇用統計                             |
| 1/20 (金)    | トランプ氏大統領就任 ☆                           | 12月コンビニ・スーパー売上高<br>12月全国百貨店売上高                        | 独12月生産者物価指数                        | 中国10-12月期GDP ☆、12月鉱工業生産、小売売上高、固定資産投資 |
| ☆<br>今週の注目点 | 米国の財政政策を見るうえで、トランプ氏の就任演説が注目されます。       | 日本の設備投資動向を見るうえで、機械受注が注目されます。                          | 一段の緩和があるかECB理事会が注目されます。            | 中国景気動向を見るうえで、GDPが注目されます。             |

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

弊社マーケットレポート

検索!!

先週の注目の「マーケット・デ일리」

2017年 1月10日 引き続き良好な米国の雇用統計（2016年12月）【デ일리】

2017年 1月12日 ブラジルの金融政策（2017年1月）【デ일리】

先週の「マーケット・ウィークリー」

2016年 1月10日 先週のマーケットの振り返り（2017/1/2-1/6）【ウィークリー】

先月の「マーケット・マンスリー」

2017年 1月 5日 先月のマーケットの振り返り（2016年12月）【マンスリー】

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2017年 1月11日 2017年は欧州の「選挙イヤー」（欧州）【キーワード】



【2017年1月9日～1月13日】

## 【重要な注意事項】

### 【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

#### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆直接ご負担いただく費用 … 申込手数料 **上限3.78%（税込）**

… 換金（解約）手数料 **上限1.08%（税込）**

… 信託財産留保額 **上限3.50%**

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 … 信託報酬 **上限年 3.834%（税込）**

◆その他費用 … 監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託（基準日現在において有価証券届出書を提出済みの未設定の投資信託を含みます。）における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を事前に必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

〔2016年10月31日現在〕

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。